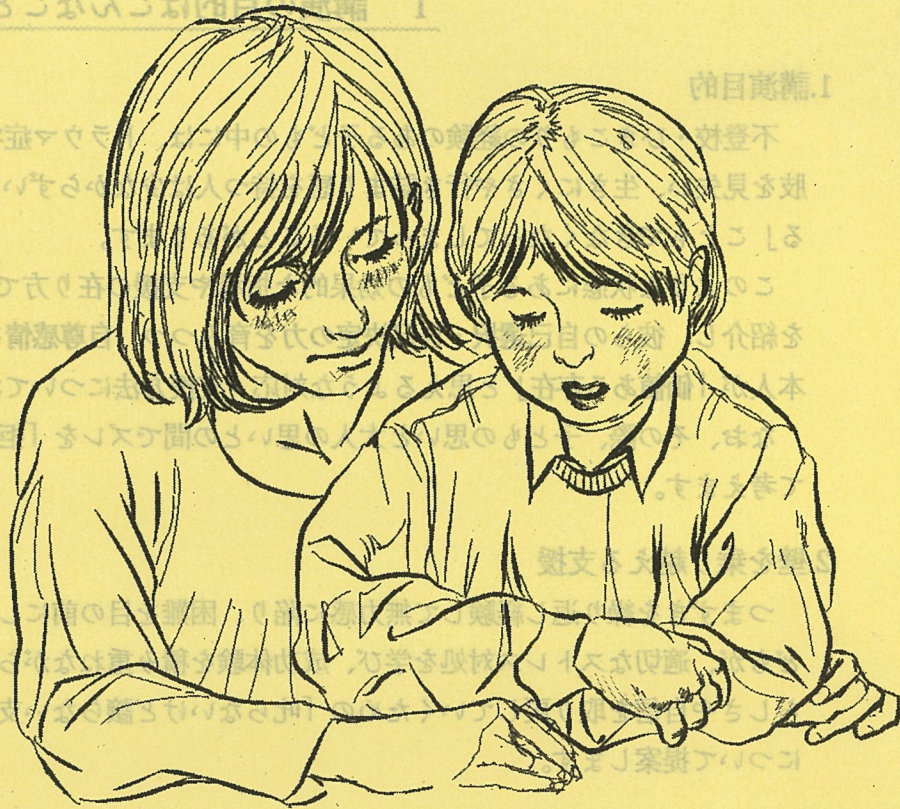


価値ある存在として

提案・交渉型アプローチの有効性



令和7年度 ひきこもり支援講演会

「叱らないけど譲らない」

<講師紹介>

武田 鉄郎 様

和歌山大学名誉教授

国立ハノイ教育大学大学院客員教授

主な著書:「発達障害の子供の『できる』を増やす提案・交渉型アプローチ 叱らないけど譲らない支援」(学研プラス 2017)など

日時 8月10日(日) 14:00~16:00 (開場 13:30)
場所 十日町市千手中央コミュニティセンター 千年の森ホール
参加費 無料 定員 200名 ※子ども一時預かり所あります
内容 不登校・ひきこもり問題について、有効かつみんなで協力できるアプローチを一緒に学ぶ

主催 十日町市・十日町市教育委員会
企画運営 だんだん会・NPO 法人市民活動ネットワークひとサポ
申込先 090-8004-4520(月・水・金曜日 9:00~16:00)
sekiguchi.15@hitosapo.info 申込締切 8月4日(月)

I 講演の目的はこんなこと

1.講演目的

不登校・ひきこもりの経験のある子どもの中には、トラウマ症状により不適応状態になり、選択肢を見失い、生きにくさや行き詰まり感を持つ人は少なからずいます。そして、本来ならば「できる」こともできなくなってしまうことがあります。

このような状態にある子どもの効果的な指導や支援の在り方である「提案・交渉型アプローチ」を紹介し、彼らの自己選択・自己決定の力を育みつつ、自尊感情を育て可能性を広げ、なおかつ、本人が「価値ある存在」と思えるような対応・支援方法について深く掘り下げます。

なお、その際、子どもの思いと大人の思いとの間でズレを「拒否→要求→調整行為」から分析して考えます。

2.壁を乗り越える支援

つまづきを繰り返して経験して無力感に陥り、困難を目の前にして立ちすくんでしまっている子どもが、適切なストレス対処を学び、成功体験を積み重ねながら自尊感情を高め、本来のその子らしさや自信を取り戻していくための「叱らないけど譲らない支援=提案・交渉型アプローチ」について提案します。

3.提案・交渉型アプローチとは

II 昨年開催した講演会のアンケートではこんな意見が

- ・自分の子育ての時に知っていたかった。
- ・武田先生の話をもっと聞きたかった。
- ・今回の講座はすぐに支援に役立つと思った。
- ・これからの子育てと仕事で役立つと感じた。
- ・待つことの大切さがわかった。
- ・自己肯定感と自尊感情の違いがわかった。
- ・子どもの幼少期に聞きたかった。
- など

<同時開催> うおぬまアール・ブリュット芸術祭作品展

日時 令和7年8月10日(日) 13時~16時

会場 千手中央コミュニティセンター ホワイエ

内容 十日町市及び近隣の障がいのある方の作品展です。
クリアファイルやマスキングテープ等のグッズ販売も行います。

問合せ 障がい者地域生活支援センターあおぞら 025-755-5861

問合せ先が表面の講演会とは異なりますのでご注意ください。

※だんだん会

民・官協働のもとに不登校・ひきこもりなどの課題を考え、支援を行う団体
事務局はNPO 法人市民活動ネットワークひとサポ
市民活動センター十じろうの1階で活動中